

Ruby biz グランプリ 2017 募集要項

1. 目的・趣旨

プログラミング言語 Ruby の特徴を活かして、新たなサービスを創出しビジネスを継続的に展開している事例※を顕彰することにより、Ruby によるビジネス展開の優位性を国内外に広く PR し、Ruby でのビジネスチャンスのさらなる拡大を目指します。

※Ruby を使った商品・サービスが、ビジネス領域において、多数の顧客に利用され、また継続して顧客価値の向上に努めている成長事例が対象

2. 主催

Ruby biz グランプリ実行委員会

3. 募集内容

(1) 募集対象

Ruby を使った自社商品・サービス等で、新規性、独創性、市場性、将来性に富んでおり、今後継続的に発展が期待できるビジネス事例を募集します。

概ね 1 年以上ビジネスが継続されている国内外の事例を対象とします。

※主な対象事例は、クラウドを利用した SaaS、PaaS、単独パッケージ等

(2) 応募資格

企業、団体及び個人（任意団体を含む）

※本グランプリ大賞受賞者からの受賞対象事例の再応募は対象外とします。

4. 応募方法

応募資料（所定の応募用紙及び参考資料※）を Ruby biz グランプリ実行委員会事務局宛にメール添付にて提出してください。

その際、メールのタイトル（件名）は、『**Ruby biz グランプリ**』応募書類送付【団体名】としてください。

E-Mail : rubybiz@joe2.pref.shimane.jp

なお、募集要項並びに応募用紙は、Ruby biz グランプリ実行委員会のホームページからダウンロードできます。

URL : <http://rubybiz.jp>

※参考資料は、審査の参考となる説明書、カタログ等の資料です。

5. 応募先・問い合わせ先

Ruby biz グランプリ実行委員会事務局

（島根県商工労働部産業振興課情報産業振興室）

TEL : 0852-22-5621

E-Mail : rubybiz@joe2.pref.shimane.jp

URL : <http://rubybiz.jp>

6. 応募締切

平成 29 年 9 月 29 日（金） 17 時 ※必着

7. 審査基準

Ruby biz グランプリの主な審査評価ポイントは以下のとおりです。

(1) 事業の成長性と持続性

①新規性・独創性・優位性があること

・当該サービス創出の着目点（背景・動機・目的）、事業戦略

・独創的なアイデアに富んでいるか、他のサービス等との差別化・優位性があるか

②市場性 ・ 成長性があること(事業化の成果・実績)

- ・ 近年 3 年以内の売上高・顧客数等の伸び率 (成長曲線が描かれていること)
- ・ 顧客ニーズに応えるための創意工夫 (事業検証・フィードバック・広報等)

③将来性があること(今後の展望)

- ・ 中長期ビジョンが明確であり、その実現性が高いこと (市場動向を的確に把握)
- ・ 成長軌道に乗せるための創意工夫点(持続可能な設計・仕組みであること)

(2) Ruby の関わり方 (優位性の PR)

- ・ アーキテクチャ図等を踏まえ、Ruby の採用理由、実際に使って実感した Ruby の強み・メリット
- ・ 画期的な Ruby の利用
- ・ Ruby の普及啓発・人材教育の貢献

(3) 事業の社会的な影響度(事業の実効性・インパクト)

- ・ 産業や業界の発展や地域社会・経済の向上等への貢献度、波及効果

(4) その他独自の特色ある事項、アピールポイント

8. 審査方法

有識者で構成される審査委員会において、以下の手順により審査を行います。

(1) 選考方法

応募資料 (応募用紙及び参考資料) による書類審査で、審査基準に照らし合わせ、5 点程度を選考し、各受賞企業を決定します。

なお、審査の過程において、確認すべき事項が発生した際には、連絡担当者にお問い合わせいただくことがございます。また、審査の内容に関するお問い合わせには、お答えできませんので、ご了承ください。

(2) スケジュール

- ① 応募受付：平成 29 年 7 月 5 日(水)～ 9 月 29 日(金)
- ② 応募事例の PR：選考までの 2 ヶ月程度 PR
- ③ 選考：平成 29 年 11 月上旬
- ④ 表彰式等：平成 29 年 12 月 14 日(木) (東京都内のホテル)
- ⑤ 表彰事例の広報：1 年間プロモーション動画等により PR

(3) 審査選考委員

委員は下表のとおりです (敬称略)

委員長	まつもと ゆきひろ	Ruby アソシエーション 理事長
委員	笹田 耕一	Ruby アソシエーション 理事
委員	正村 勉	日本郵政株式会社 執行役
委員	寺田 雄一	株式会社オープンソース活用研究所 代表取締役所長
委員	中村 建助	日経 BP 社 情報技術メディア発行人補佐
委員	森 正弥	Ruby アソシエーション 評議員 楽天株式会社 執行役員

(委員については 50 音順にて表記)

9. 各賞・表彰

- (1) 大賞 2 点程度 (表彰状、記念品、副賞 100 万円)
- (2) 特別賞※ 3 点程度 (表彰状、記念品、副賞 30 万円)
※特徴的な取り組みと認められるもの

10. 応募事例及び受賞事例のPR等

- (1) 応募事例のPR
 - ・応募された事例は、選考期間中 (2 ヶ月程度) に当実行委員会のホームページでの紹介ほか、内容を広く PR させていただきます。希望される応募者は、応募用紙の 8. 応募事例の PR の欄にサービスの特徴等を記載してください。
 - ・その他 PR 素材等の参考資料がある場合、A4 サイズ (縦・横問いません) の電子データ (上限 50MB) を送付してください。
- (2) 受賞事例のPR
 - ・受賞事例は、表彰式後にプロモーション動画等を制作して、一定期間 PR させていただきます。表彰式後に PR 方法等について確認のため、問い合わせさせていただくことがあります。

11. 応募上の留意事項

- ・参考資料がある場合は、取り組み内容を把握するうえで必要な最小限の分量とし、A4 サイズ (縦・横問いません) の電子データに加工のうえ (上限 50MB)、応募用紙とあわせて送付してください。
- ・画像等を参考資料の一部として用いることも可能です。
ただし、第三者の著作権、肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分ご留意ください。
- ・ご応募いただいた取り組み内容は、Ruby biz グランプリ実行委員会等の活動において、広報・プロモーション等で活用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・応募資料受領後、事務局等から内容の問い合わせを行う場合がありますので、その際は、ご対応のほどよろしくお願いいたします。